

第五次中国省長訪日代表团

日 本 滞 在 概 要

平成9年（1997年）5月13日～22日

全 国 知 事 会

写真あり

5月14日 伊藤宗一郎 衆議院議長表敬訪問（議長公邸）

写真あり

5月14日 白川勝彦 自治大臣表敬訪問（自治省）

写真あり

5月14日 青島幸男 東京都知事表敬訪問（東京都庁）

写真あり

5月14日 防災センター視察（東京都庁）

写真あり

5月15日 経団連中国委員会との懇談（経団連会館）

写真あり

5月15日 土屋義彦 埼玉県知事・全国知事会会長
表敬訪問（知事公館）

写真あり

5月16日 小寺弘之 群馬県知事主催夕食会（前橋東急イン）

写真あり

5月17日 ぐんまフラワーパーク視察

写真あり

5月19日 周恩来総理記念詩碑への参拝
(左側から王随員 李秘書長 劉団員 周団員
呉団長 呉団員 朱団員 賀団員 蔡随員)

写真あり

5月19日 山田勇 大阪府知事表敬訪問 (大阪府庁)

写真あり

5月21日 法隆寺視察

写真あり

5月21日 柿本善也 奈良県知事表敬訪問（奈良県庁）

は し が き

第五次中国省長訪日代表団（団長・呉亦侠貴州省省長）一行 9 名は、本会の招待で、平成 9 年 5 月 13 日から 5 月 22 日までの 10 日間、来日滞在し、東京都、埼玉県、群馬県、大阪府、奈良県を訪問し、各知事を表敬訪問するとともに、各都府県の防災センター、芸術劇場、廃棄物処理施設、寺院や自動車工場等の行政・文化・産業等を視察した。

また、東京においては、伊藤衆議院議長、白川自治大臣を表敬訪問したほか、経済交流等について経団連中国委員会と懇談を行うなど、日中両国の友好交流の発展と緊密化に努めた。

最後に、同代表団の呉団長から「1999 年の適当な時期に全国知事会代表団を中国に招待する。」旨の表明がなされた。

本報告書は、同代表団が成田空港に到着し、関西空港から中国へ出発するまでの滞在概要を報告するものである。

なお、今回の訪日に関連し種々御配慮をいただいた日中両国の関係各位に厚く謝意を表する次第である。

目 次

1	第五次中国省長訪日代表団名簿	1
2	第五次中国省長訪日代表団滞在日程	2
(1)	総括（概略）	2
(2)	日 別	3
3	要人との会見等（要旨）	
(1)	伊藤宗一郎 衆議院議長との会見（5月14日）	13
(2)	白川勝彦 自治大臣との会見（5月14日）	15
(3)	経団連中国委員会との懇談（5月15日）	17
4	訪問都府県知事のあいさつ等（要旨）	22
(1)	青島 幸男 東京都知事（5月14日）	22
(2)	土屋 義彦 埼玉県知事（全国知事会会長 5月15日）	23
(3)	小寺 弘之 群馬県知事（高山昇副知事 5月16日）	26
(4)	山田 勇 大阪府知事（5月19日）	30
(5)	柿本 善也 奈良県知事（5月21日）	32
5	資 料	34
(1)	第五次中国省長訪日代表団略歴	34
(2)	第五次中国省長訪日代表団関係省の概要	35
(3)	中国省レベル行政区画地図	37
(4)	中国日本友好協会	38
(5)	都道府県と中国省・自治区・中央直轄市との 友好提携状況	39
(6)	日中知事交流の経過	40

1 第五次中国省長訪日代表团名簿

- 団 長 貴州省省長
呉 亦 俠 (WU YIXIA)
〔1943年 4月生れ 吉林省出身〕
- 団 員 黒龍江省副省長
周 鉄 農 (ZHOU TIENONG)
〔1938年 11月生れ 黒龍江省出身〕
- 団 員 河北省副省長
劉 作 田 (LIU ZUOTIAN)
〔1941年 2月生れ 河北省出身〕
- 団 員 江西省副省長
朱 英 培 (ZHU YINGPEI)
〔1944年 3月生れ 江蘇省出身〕
- 団 員 湖南省副省長
賀 同 新 (HE TONGXIN)
〔1953年 9月生れ 山東省出身〕
- 団 員 海南省副省長
呉 昌 元 (WU CHANGYUAN)
〔1946年 10月生れ 浙江省出身〕
- 秘書長 中日友好協会副秘書長
李 鉄 民 (LI TIEMIN)
〔1945年 3月生れ 黒龍江省出身〕
- 随 員 中日友好協会理事
王 慶 英 (WANG QINGYING)
〔1944年 4月生れ (女性) 河北省出身〕
- 随 員 中日友好協会幹部
蔡 紅 (CAI HONG)
〔1966年 9月生れ 山西省出身〕

2 第五次中国省長訪日代表团滞在日程

(1) 総括(概略)

年月日(=)	時 間	行 事 内 容 等	宿 泊 地
平成9年 5月13日(火)	13:26 18:00	成田空港着(CA925) 紀内 隆宏 事務総長主催夕食会(帝国ホテル)	東京都
5月14日(水)	10:00 10:35 11:30 14:00 16:05 16:25 17:20	伊藤 宗一郎 衆議院議長表敬訪問(議長公邸) 皇居前散策 白川 勝彦 自治大臣表敬訪問(自治省) 松下電器AV&CCシステムズスクエア視察(品川区) 青島 幸男 東京都知事表敬訪問(東京都庁) 防災センター視察(東京都庁) 武大偉 駐日中国公使主催夕食会(中国大使館)	東京都
5月15日(木)	10:30 15:20 17:00 17:30	経団連中国委員会との懇談(経団連会館) 彩の国さいたま芸術劇場視察(与野市) 土屋 義彦 埼玉県知事・ 全国知事会会長表敬訪問(知事公館) 埼玉県知事主催夕食会(知事公館)	埼玉県
5月16日(金)	9:30 12:30 17:00 17:15	本田技研工業埼玉製作所狭山工場視察(狭山市) 富士重工業群馬製作所本工場(太田市) 小寺 弘之 群馬県知事表敬訪問 (高山昇副知事)(前橋東急イン) 群馬県知事主催夕食会(前橋東急イン)	群馬県
5月17日(土)	9:40 13:30	ぐんまフラワーパーク視察(宮城村) バスにて群馬県から東京都へ	東京都
5月18日(日)	11:20 12:12 12:33	東京みなと館視察(江東区) 東京ファッションタウン視察(江東区) 東京国際展示場視察(江東区)	東京都
5月19日(月)	7:56 10:11 10:53 16:30 18:00	東京駅発(のぞみ5) 京都駅着 三菱自働車工業京都製作所視察(京都市) 山田 勇 大阪府知事表敬訪問(大阪府庁) 大阪府知事主催夕食会(ホテルニュートタニ大阪)	大阪府
5月20日(火)	10:00 13:16 15:54 17:34	大阪ドーム視察(大阪市) 堺市廃棄物処理施設視察(堺市) 日本橋筋商店街視察(大阪市) 劉智剛 駐大阪総領事主催夕食会(中国総領事館)	大阪府
5月21日(水)	10:30 13:15 13:45 14:33 15:44 19:00	法隆寺視察(斑鳩町) 奈良県新公会堂視察(奈良市) 柿本 善也 奈良県知事表敬訪問(奈良県庁) 東大寺視察(奈良市) ジャスコ奈良商店視察(奈良市) 奈良県知事主催夕食会(奈良ホテル)	奈良県
5月22日(木)	9:13 9:49 15:35	鹿寄せ(飛火野) 平城宮跡視察(奈良市) 関西空港発(CA922)	

(2) 日 別

第 1 日 5 月 13 日 (火)

時間	行事・利用便名等	内容 (出席者) 等	場所・ホテル等
13 : 26	第五次中国省長訪日代表団成田空港着 (CA925)	呉中国省長団団長外 8 名来日	
13 : 50	中国省長団の出迎え	〔出迎え〕 (中国大使館) 武参事官、 王二等書記官、袁三等書記官 (知事会) 矢野次長、石場国際部長 外 〔通訳〕 鄧自治体国際化協会職員	成田空港 国際線ターミナル
14 : 00	成田空港出発 (バスで移動)		
15 : 34	帝国ホテル着		
18 : 00~ 20 : 10	事務総長主催夕食会	〔出席〕 呉中国省長団団長外 8 名 (中国大使館) 武参事官、 王二等書記官、袁三等書記官 (知事会) 紀内事務総長、矢野次長、 石場国際部長外 〔通訳〕 鄧自治体国際化協会職員	帝国ホテル 中2階「レセゾン」 帝国ホテル泊

第 2 日 5 月 14 日 (水)

時 間	行事・利用便名等	内容 (出席者) 等	場所・ホテル等
9 : 45	ホテル出発 (バスで移動)		
10 : 00~ 10 : 25	衆議院議長表敬訪問	〔応対〕 伊藤衆議院議長外 (大使館) 武公使外 (知事会) 紀内事務総長、 石場国際部長外 〔通訳〕 鄧自治体国際化協会職員	衆議院議長公邸
10 : 30	議長公邸出発		
10 : 35~ 11 : 00	皇居前散策		
11 : 25	自治省着		
11 : 30~ 11 : 55	自治大臣表敬訪問	〔応対〕 白川自治大臣外 (大使館) 武公使外 (知事会) 紀内事務総長、 石場国際部長外 〔通訳〕 鄧自治体国際化協会職員	自治省 (JTビル) 14 階 (自治大臣)
12 : 10~ 13 : 30	昼 食		霞ヶ関ビル 33 階 「けやき」
14 : 00~ 15 : 00	松下電器 AV&CC システムズスクエア視察	〔説明〕 市川専務外 (知事会) 石場国際部長外	品川区東品川 4-5-15
16 : 05~ 16 : 20	東京都知事表敬訪問	〔応対〕 青島知事、馬淵外務長、花 輪外事課長、 小栗広域連絡担当部長、 佐藤広域連絡担当課長 (知事会) 石場国際部長外 〔通訳〕 鄧自治体国際化協会職員	東京都庁 第 1 庁舎 7 階 「特別応接室」
16 : 25~ 17 : 15	防災センター視察	〔説明〕 赤星総務局参事 (震災対策担当参 森田防災広報主任、小栗広 域連絡担当部長 佐藤広域連絡担当課長、花 輪外事課長外 (知事会) 石場国際部長外 〔通訳〕 鄧自治体国際化協会職員	東京都庁 第 1 庁舎 8 階
17 : 20	中国大使館訪問、 公使主催夕食会	〔出席〕 呉中国省長団団長外 8 名	港区元麻布 3-4-3 帝国ホテル泊

第 3 日 5 月 15 日 (木)

時間	行事・利用便名等	内容 (出席者) 等	場所・ホテル等
10:10	ホテル出発(バスで移動)		
10:30～ 12:13	経団連中国委員会との懇談	〔出席〕 三田勝茂中国委員会委員長 (日立製作所会長) 沖信春男委員(山武ハネウェル相談役)、 藤野文晤委員(伊藤忠商事常務取締役)等財界58名出＝ 三好正也経団連事務総長、 角田博同国際本部副本部長外 (知事会)石場国際部長外 〔通訳〕井出日本コンペンションサービス	経団連会館 9階(クリスタル・ルーム)
12:13	経団連会館出発		東京国際フォーラム 7階「吉祥」
12:40～ 13:55	昼食		
15:20～ 16:30	彩の国さいたま芸術劇場視察	〔説明〕 諸井館長外 (知事会)石場国際部長外	与野市上峰3-15-1
16:30	芸術劇場出発		
17:00～ 17:30	埼玉県知事・ 全国知事会会長表敬訪問	〔対応〕 土屋知事(会長) 鈴木知事室長、武田総合政策部長、 柴崎理事、大原国際課長 (知事会)紀内事務総長、 石場国際部長外 〔通訳〕藤井国際課嘱託	知事公館
17:30～ 19:00	埼玉県知事主催夕食会	〔出席〕 呉中国省長団団長外8名 (埼玉県)土屋知事(会長)、穂坂埼玉県議会議長 栗長 日中友好埼玉県議会議員連盟会長、浅古埼玉県 議会自由民主党議員団団長、和田埼玉県議会公明議員団団長 笠原連合歩みの会・民主議員団代表、松本彩の国・ フロンティア・県民連合代表、高橋 社会民主党埼玉県議 議員団団長、増野埼玉経済同友会代表幹事、島田埼玉 県農業協同組合中央会会長、渦尾 埼玉県日本中国友好協 会会長代行外 (知事会)紀内事務総長、 石場国際部長外 〔通訳〕藤井国際課嘱託	知事公館 (記念品交換)
19:05 20:00	知事公館出発 川越プリンスホテル着		川越プリンスホテル泊

第 4 日 5 月 16 日（金）

時 間	行事・利用便名等	内容（出席者）等	場所・ホテル等
8：45	ホテル出発（バスで移動）	〔説明〕	
9：30～ 11：00	本田技研工業埼玉製作所狭山工場視	関根完在事業部長外 （知事会）石場国際部長外	狭山市新狭山 1-10-1
11：00	狭山工場出発	〔応対〕	
12：30～ 12：55	富士重工業群馬製作所本工場	川合会長、本郷常務、花田常務外 （知事会）石場国際部長外	太田市東本町 10-1
13：00	群馬製作所本工場出発		富士重工雄飛荘
13：10～ 14：00	昼 食		
14：10	富士重工業雄飛荘出発		
14：25	富士重工業矢島工場視察		太田市庄屋町 1-1
15：30	矢島工場出発		
17：00～ 17：15	群馬県知事表敬訪問	〔応対〕 高山副知事、湯沢総務部長、 池田秘書課長、川嶋国際課長 （知事会）石場国際部長外 〔通訳〕鈴木国際交流相談員	前橋東急イン 3階「樺」
17：15～ 19：00	群馬県知事主催夕食会	〔出席〕 呉中国省長団団長外 8 名 （群馬県）小寺知事、高山副知事、 湯沢総務部長、贄田農政部長、 長野商工労働部長外 （知事会）石場国際部長外 〔通訳〕鈴木国際交流相談員外	前橋東急イン 2階「紅雲」 前橋東急イン泊

第 5 日 5 月 17 日 (土)

時 間	行事・利用便名等	内容 (出席者) 等	場所・ホテル等
9 : 00	ホテル発 (バスで移動)		
9 : 40 ~ 11 : 30	ぐんまフラワーパーク視察	〔説明〕 関口群馬県フラワー協会常務理事 (知事会) 石場国際部長外	宮城村大字柏倉 2471-7
11 : 30	フラワーパーク出発		荻野屋
12 : 00 ~ 13 : 30	昼 食		
13 : 30	出 発		
15 : 10	帝国ホテル着	〔出迎え〕 (知事会) 国際部	
18 : 00	夕 食		帝国ホテル 17階 レインボールーム 帝国ホテル泊

第 6 日 5 月 18 日 (日)

時 間	行事・利用便名等	内容 (出席者) 等	場所・ホテル等
10:00	ホテル出発 (バスで移動)		
10:30	お台場海浜公園散策		
11:10	台場出発		
11:20～ 12:08	東京みなと館視察	〔説明〕 大野館長 (知事会) 石場国際部長外 〔通訳〕 鄧自治体国際化協会職員	江東区青海 2-43
12:12～ 12:25	東京ファッションタウン視察		江東区有明 3-1
12:33～ 13:05	東京国際展示場視察	(説明) 岡部 国際見本市協会会場運営部調査役 (知事会) 石場国際部長外 〔通訳〕 鄧自治体国際化協会職員	江東区有明 3-21-1
13:08～ 14:15	昼 食		国際展示場会議棟 8階「バイヤーズルーム」
14:21	国際展示場出発		
14:47	ホテル着		
14:47～ 18:00	都内視察、買物 (自由行動)		
18:00～ 19:30	夕 食		帝国ホテル 地下1階「なだ万」
			帝国ホテル泊

第7日 5月19日(月)

時 間	行事・利用便名等	内容(出席者)等	場所・ホテル着
7:20 7:56 10:11 10:22 10:53～ 12:10	ホテル出発(バスで移動) 東京駅発(のぞみ5) 京都駅着 京都駅出発(バスで移動) 三菱自動車工業京都製作所視察	[対応] 山本三菱自動車工業取締役、 鈴木所長外 (知事会) 石場国際部長外	京都市右京区太=巽町1
12:15～ 12:20	周恩後総理記念詩碑へ参拝		京都市右京区嵯峨天龍寺 芒ノ馬場町亀山公園内
12:25～ 13:55	昼 食		嵐亭
13:58 15:30 16:03 16:30～ 17:00	昼食会場出発 ホテル着 ホテル出発 大阪府知事表敬訪問	[対応] 山田知事、竹内政策調整室長、 松井知事公室長、清水政策監、 大住政策監、楠田国際交流監 (大使館) 劉総領事 (知事会) 石場国際部長外 [通訳] 田邨	ホテルニューオータニ大阪 大阪府庁 3階 特別会議室
17:05 18:00～ 19:50	大阪府庁出発 大阪府知事主催夕食会	[出席] 山田知事、竹内政策調整室長 清水政策監、大住政策監、 楠田国際交流監 (大使館) 劉総領事外 (知事会) 石場国際部長外 [通訳] 田邨外ト	ホテルニューオータニ大阪 18階「レインボー」 ホテルニューオータニ大阪

第 8 日 5 月 20 日 (火)

時 間	行事・利用便名等	内容 (出席者) 等	場所・ホテル等
9 : 03	ホテル出発 (徒歩で移動)		
9 : 15～ 9 : 39	大阪城視察		大阪府中央区大阪城 1-1
9 : 39	大阪城出発 (バスで移動)		
10 : 00～	大阪ドーム視察	(説明) 今田大阪シティドーム社長外 (知事会)石場国際部長外	大阪府西区千代崎 3-中 2-1
11 : 30～ 12 : 30	昼 食		大阪ドーム4階「ドームグリル」
12 : 40	大阪ドーム出発		
13 : 16～ 14 : 50	堺市廃棄物処理施設視察	(説明) 倉内堺市助役外 (知事会)石場国際部長外	堺市石原町 1-102
14 : 52	廃棄物処理施設出発		
15 : 54～ 17 : 20	日本橋筋商店街視察		大阪府
17 : 20	日本橋筋商店街出発		
17 : 34	中国総領事館訪問、 総領事主催夕食会	[出席] 呉中国省長団団長外 8 名	大阪府西区靱本町 3-9-2 ホテルニューオータニ大阪泊

第9日 5月21日(水)

時間	行事・利用便名等	内容(出席者)等	場所・ホテル等
9:06	ホテル出発(バスで移動)		
10:30~	法隆寺視察		斑鳩町法隆寺山内 1-1
11:25			
11:28	法隆寺出発		
12:25~	昼食		奈良県新公会堂
13:10			
13:15~	奈良県新公会堂視察	(説明)	
13:25		梅村館長外	奈良市春日野町 101
13:25	奈良県新公会堂出発	(知事会) 石場国際部長外	
13:30	奈良県庁着		
13:45~	奈良県知事表敬訪問	[応対]	
14:23		柿本知事、岩本副知事、 藤原企画部長、谷川企画課長 (知事会) 石場国際部長外 [通訳] 宋奈良教育大学非常勤講師	奈良県庁 5階 特別応接室
14:28	奈良県庁出発		
14:33~	東大寺視察		奈良市雑司町 4-6-1
15:22			
15:27	東大寺出発		
15:44~	ジャスコ奈良南店視察		奈良市南京終 710
17:30			
17:46	奈良ホテル着		
19:00~	奈良県知事主催夕食 会	[出席]	奈良ホテル 「菊の間」
20:40		柿本知事、岩本副知事、 天根教育長、梶川 奈良県日中友好協会副会長、 堀内 同会副会長、小暮総務部長、 藤原企画部長、米田企画部理事外 (知事会) 石場国際部長外 [通訳] 老田外	奈良ホテル泊

第 10 日 5 月 22 日 (木)

時 間	行事・利用便名等	内容 (出席者) 等	場所・ホテル等
9 : 08	ホテル出発		
9 : 13～ 9 : 26	鹿寄せ		飛火野
9 : 31	飛火野出発		
9 : 49～ 11 : 05	平城宮跡視察	[説明] 金田 平城宮跡発掘調査研究員 (知事会) 石場国際部長外	奈良市二条町 2-9-1
11 : 09	平城宮跡出発		奈良パークホテル
11 : 20～ 12 : 35	昼食		
12 : 40	奈良パークホテル出発		
13 : 40	関西空港着		
14 : 30	出 国	[見送り] (大使館) 張領事 (知事会) 石場国際部長外	関西空港 国際線出発ロビー
15 : 35	関西空港発 (CA922)		

3 要人との会見等（要旨）

(1) 伊藤宗一郎 衆議院議長との会見

5月14日（水）10：00～10：25

衆議院議長公邸

主な同席者：武大偉駐日中国公使

紀内隆宏全国知事会事務総長

（通訳：鄧曉峰）

伊藤議長 第五次中国省長代表団の来日ということで日中両国の友好関係が着々と深まっていることを歓迎する。

政府、国会の要人、また地方では知事はじめ関係者との面談、さらに視察等まことに有意義だと思う。

初めての方もおられると思うが、日本をご覧になられ、お国に帰られて、国民の皆様に日本の現状を正確にお伝えいただきたい。

両国の友好関係の発展、またアジアの平和のため着実な道を進められておられることに深く敬意を表したい。

私は、中国と日本が心から手を取りあいアジア、ひいては世界の平和に向かって新しい決意を持った。

衆議院議長就任7ヵ月で、いろいろな中国の要人の訪問を受けた。この場を借りて、改めて鄧小平氏の御逝去に謹んで哀悼の意を表したい。

本日、若々しい皆様にお会いし、中国の原動力を感じた。

団 長 中日国交回復25周年の記念するこの年に全国知事会の土屋義彦会長のお招きで来日した。この代表団は北は黒龍江省から南は海南省まで、その間に河北省、江西省、湖南省、貴州省の4省、併せて6省からなっている。

中国と日本とは、国交回復25年来、両国の努力により政治、文化、あるいは地方自治体間の交流等が一層深まっている。

1973年、天津と神戸市との友好提携がはじめて結ばれて今では約186組が友好提携を結んでいる。

日本の知事等28名が中国を、また中国の省長等29名が日本を訪問しており、交流は着実に継続されている。

今年は、7月に香港の主権が回復し、また秋には第15回中国共産党全国代表大会があるなど中国にとって重要な1年である。

江沢民国家主席の指導の下、故鄧小平指導者の改革・開放政策の指針に基づき、今、中国は政治的に安定し、経済は発展している。

我々は、あと3年で21世紀を迎えるが、伊藤議長、全国知事会との協力の下で、中日友好関係を一層緊密かつ着実に発展させ、アジア・太平洋の安定と平和、さらには世界の平和へと貢献して参りたいと決心している。

伊藤議長の御言葉は帰国後、各省の国民に必ずお伝えしたい。

(2) 白川勝彦 自治大臣との会見

5月14日(水) 11:30~11:55 自治大臣室

主な同席者：武大偉駐日中国公使

紀内隆宏全国知事会事務総長

(通訳：鄧曉峰)

白川自治大臣 呉団長はじめ代表団の皆様、自治省を代表して歓迎する。

私は、中国に1度しか行っていないので、よく知っているとは言えないが、お国では新聞等で改革・開放を進めていると思っている。

不景気で一時の勢いはないが、日本を見てもらい実りある成果を期待する。

団長 本日、白川自治大臣には会見していただき感謝し、光栄に思っている。大臣には、中国を訪問していただいたことに敬意を表する。

かねてからの中日友好協会と全国知事会との交流は必ず両国地方自治体間の交流発展に役立つと思っている。

今年は、中日国交正常化25周年の年である。両国関係を見ると、わが国の省長等29名が訪日、日本の知事等28名が訪中され友好交流が続けられ、今までに約186組の友好提携が結ばれた。

わが国では、香港の主権が戻り、故鄧小平指導者が行ってきた社会主義市場経済を推進している。

また、あと3年で人類は21世紀に入るので、未来を切り開いていく必要がある。

さらに、自治大臣には両国友好の責務があり、ますます重要となってくると思っている。

大臣の出身の新潟県と黒龍江省は友好提携を結んでおり、今回、来日した6省のうち私の貴州省を除き、それぞれ友好提携を結んでいる。今回団の黒龍江省から海南省まで5,500kmある。

大臣が訪中される際には、まず、この6省に来ていただければ、必ず心を込めてもてなしたい。

大臣 それはありがたい。省と自治区の違いを教えてください。

団長 省と自治区は同じレベルの存在であり、自治区は少数民族ということが省と違い、5つの自治区がある。

大臣 省長は中央政府が任命をするのか。

団長 政治局常務委員会が指名したあとに、省級人民代表大会で選挙によ

って決定し、中央の批准を得る必要がある。

大臣 民族が違うので自治区にしたということか。

団長 少数民族の保護と自治のために、憲法に沿って、省級が 31、うち自治区が 5、省・自治区の中に自治州が約 30 ある。

大臣 今日は雨だが、視察等を楽しんでいただきたい。

(3) 経団連中国委員会との懇談

5月15日(木) 10:30~12:13

経団連会館9階 クリスタル・ルーム

出席者：三田勝茂中国委員会委員長(日立製作所会長)

沖信春男委員(山武ハネウェル相談役)

藤野文晤委員(伊藤忠商事常務取締役)

等財界58名

三好正也経団連事務総長

角田博同国際本部副本部長

主な同席者：石場雅美全国知事会国際部長

(通訳：井出寧)

三田委員長 呉亦侠団長はじめ中国省長代表団の皆様、経団連を代表して心から歓迎する。大変多くの方々が出席しているのは中国に関心があるためである。

それでは、若干日中知事交流の経過等を紹介させていただく。昭和49年以来、日中両国の相互交流等をされ、今回は5回目の訪日であり、埼玉、群馬、大阪、奈良等を視察されると伺っている。

中国は、改革・開放が進み、内陸部と沿海部との格差が広がり、それが不安定要素となっていると伝えられている。

今年は、日中国交正常化25周年に当たるとともに、香港の返還、鄧小平氏の死去、秋に第15回中国共産党全国代表大会がある。この大きな変化の中で、地方分権を進められ、呉団長はじめとする御活躍が期待されている。

早速だが、40分ぐらいのお話を賜りたい。

団長 尊敬する三田委員長はじめ、御出席されている皆様に対し、中日国交正常化25周年に当たる今年、経団連の諸先生方にお会いでき大変うれしく思っている。

三田委員長のお話は、中国人民への友好的なものであり、敬意を表する。

それでは、「中国経済・貴州省の経済及び省長の権限」について、はじめに「中国経済」について話したい。

中国経済は、持続、快速かつ健全な発展をしていて、経済成長率が1994年：11.8%、95年：10.2%、96年：9.7%であり、インフレが抑

えられている。経済成長は適度に発展し、マクロにおいても適度に発展していると思っている。

中国の人民が協力し、経済、政治が安定し、自分の職務に励んでいるところである。

今年は、中国の歴史にとって重大な年であり、7月1日、香港に対する主権回復、秋には第15回中国共産党全国代表大会がある。

三田委員長のお話の中に東西の経済格差のことを触れられ、改革・開放以来、故鄧小平指導者により一部の地域をまず発展させ、そこから他の地域も豊かになるようにすることが提唱された。1996年の全国人民代表大会において、「第9次五カ年計画」（1996～2000年）と「2010年までの長期目標要綱に関する報告」の中で、2010年まで中西部を発展させるように位置づけられており、例えば、インフラ整備、投資を中西部、少数民族、貧困地域に傾斜配分させる。

特に、エネルギー、原材料を増やすことを大いにやっている。また、東部と手を携えて、経済発展をしようとしている。例えば、そのための縁組みを江西省と陝西省、山西省とウイグル自治区等と行い、ともに発展させるよう行っている。

次に、「わが貴州省の経済」等についてであるが、私の貴州省は各民族人民の努力によって新しい世紀へ邁進している。

今回の中国省長代表団は6つの省からなり、黒龍江省、河北省、海南省は沿海地域にあり、私の省は内陸部に位置している。

それでは、貴州省は私が説明し、他の省はそれぞれの方に説明してもらう。

貴州省は、わが国の南西部に位置し、多民族で構成され、山の多い地域である。人口は約3,500万人で全人口の2.9%、総面積の1.8%になり、夏は涼しく、冬は温かいところである。

貴州省の優れたところは、鉱物資源が豊富であり、機械電子、茅台酒は有名で、5つの長所がある。1つ目はエネルギーであり、水力、石炭が豊富である。2つ目は鉱物資源が豊富で25種類あり、石炭、燐、アルミニウム等は全国3位の埋蔵量である。金の産出は全国で10番目である。3つ目は生物資源が豊富である。漢方薬草等があり、特に漢方によく使われる5つの薬草があり、全国4大漢方薬草の産地の1つである。4つ目は、機械電子業が発達しており、エレクトロニクス、自動車産業がある。5つ目は、観光資源が豊富で、景勝地があり、重点地域に指定されている。

特に、鉱物資源、電気、労働力など投資に向けた環境だと思っている。交通をはじめとするインフラも整備しているので貴州省へ投資をいただきたい。

最後に、「省長の経済権限」についてであるが、憲法等に基づき行われており、省はいろいろな経済権限を管轄している。

1つは、経済管理であり、経済発展をさせるため農業の基盤強化、国営企業の改革・発展、経済構造を改善するような政策を行い、マクロ経済を良い方向にもっていく必要がある。さらに、対外貿易、対外投資を高めることが含まれる。

また、国民経済・社会発展計画を執行する。

省内の大プロジェクトで、省でできないときは中央に働きかけ、外国との関係についても国民や政府を説得している。中央政府は省にたくさんの経済権限を与えている。

本日御出席されている方々は、有名な大手企業の先生方であり、是非この6つの省に投資をしていただきたい。

三田委員長はじめ訪問、観光、投資を心からお待ちしている。

委員長 御説明に感謝申し上げます。日本を代表する企業の方が出席しているので、中国省長代表団の関心は行政面と思うが、他の5省の副省長各位からも海外からの投資についてPRすることはないか。

周団員 私は黒龍江省の副省長をしている周鉄農

この中に黒龍江省に来られた方はおられるか。

黒龍江省は中国の最北端に位置し、特に次の2点があげられる。

1点目は、自然資源が豊富であり、石油、石炭が上位に位置し、経済は他の地域と比べて経済発展はゆるやかで、早くないため、経済発展や国際協力が必要な省ではないかと思っている。2点目は日本と黒龍江省が地理的に近く歴史もある。

御出席の先生方、経団連の先生方には投資を増やしていただきたい。黒龍江省・ハルピンで再会できることを心からお待ちしている。

朱団員 私は江西省の副省長をしている朱英培

経団連の諸先生方に江西省の紹介ができることをうれしく思っている。最近、北京と香港・九龍を結ぶ直通列車の運行が始まり、江西省を南北に709km通り、全長の1/3に当たる。この完成により対外投資環境は改善され、2つの主要な変化があるだろう。

1つは、沿海地域に位置するので、観光業が発展すると思われる。もう1つは、水がきれいなど環境がよいということで鰻の養殖が福建

省から江西省に移ったことが挙げられる。

今までの日本と江西省との成功モデルとして、スズキ、いすゞ、キヤノンがあり、伊藤忠商事にはいろいろやってもらい、感謝する。

この場を利用して、江西省は内陸地域のフロントにあり、浙江省にも近く、訪問、観光をされるときは全力を挙げもてなす。江西省に来られたときには、鰻の養殖工場を見学いただき、その場で鰻を食べていただきたい。

呉団員 私は海南省の副省長をしている呉昌元

海南省は、1番若い省で最大の経済特別区であり、海域の面積が広い
ため、海洋資源が豊かである。位置的には南海にあり、経済的には
中国大陸をバックに、東南アジアに近い。特に、天然ガスは、丸紅、
デュポン、ドイツの会社により開発が進んでいる。また、鉄鉱石、チ
タニウム、コバルト等の鉱物資源が豊富で、特に鉄鉱石は非常に質が
よい。海岸が1,500kmあり、塩田が5,000haある。

もう1つは、海南省は観光資源が豊かであり、ゴルフ場や有名なり
ゾートがあり、日本の観光客をひきつけている。

さらに、道路については、海南島において2000年までに島内周回
道路が開通する予定であり、残っているのは180kmでしかない。そして、
サンヤ国際空港が開港している。

以上簡単ですが、心から三田委員長、出席の皆様に対し感謝申し上
げる。

劉団員 私は河北省の副省長をしている劉作田

河北省は、中国の東部に位置し、北京、天津の周辺に位置し、渤海
に面し、開放、開発の重点地域に指定されている。

河北省も天然資源が豊かで、88種類の資源があり、全国で石炭1位、
鉄鉱石2位、金3位にある。交通の便利がよく、北京、天津を囲んだ
形で全国的な中心地である。また、秦皇島港は全国で2番目の良港で、
石炭、電力、化学、医薬等10大産業があり、合弁企業の数約
6,000ある。農業については綿花、とうもろこし3位、小麦4位にあ
る。

改革・開放して以来、GDP第8位（1994年）に位置し、資源的な
経済に頼っているため、ハイテクノロジー等産業構造へどうやって変
えていくのかが主な問題になっている。

日本と協力する余地があると思っているので、観光等に来ていただ
きたい。

賀団員 私は湖南省の副省長をしている賀同新
湖南省は中南部に位置し、特色が4点ある。

1つ目は自然資源、2つ目はインフラ整備、3つ目は一定レベルの
経済、4つ目は対外協力である。

96年までで湖南省への投資額は約43億ドル、輸出入関係国は35カ国
あり、中国政府、湖南省とも外国との経済協力を行っていく考えで
ある。魅力はいろいろあるが、1つ目は香港の返還、2つ目は揚子江
の中部に位置し、上海経済特別区に近く、広東省の北部に位置し、内
陸部のフロントになり重要な地域にある。すばらしい投資チャンスだ
と思っているので、是非投資して欲しい。

委員長 それでは何か御質問は。

沖信委員 アドバイスしておきたいのだが、私どもの会社は空調関係の仕事
をしており、制御弁の自動化装置、鋳物を造っているが、日本では造り
手がない。そのため、大連に工場を造り生産を行っている。非常に
大きな問題として考えるべきことは、今後、国内、海外のどこで生産
するのかということである。

委員長 外にどなたか。先程、江西省の朱副省長から伊藤忠商事の話がされ
たので、お願いしたい。

藤野委員 伊藤忠商事の藤野

過分のお褒めを賜りありがたい。内陸部の方々が来られているのは
時期にかなったいい仕事だと思っている。

まず、日本の投資額の80～85%が沿海部であり、内陸部はまだ親近
感がないかもしれない。

是非、内陸部の方が来て、PRをしていただきたい。特に、内陸部
に9億人の市場がある。

せっきくの機会であり、日中経済発展のため2つの点をお願いする。

1つは、皆様が言われた交通だけではなく、さらに社会基盤の整備
を一致して進めていただきたい。もう1つは、流通を含めた内陸市場
の開放度を高めていただきたい。

委員長 中国省長代表団の実りある訪問を祈念し、終了いたしたい。

4 訪問都府県知事のあいさつ等（要旨）

（1）青島幸男 東京都知事（5月14日）

表敬訪問における青島知事あいさつ

中国省長代表団の皆様、都庁へ来ていただき心から歓迎する。

青葉、若葉の季節で日本は一番良い時期だ。東京をはじめ各地をいろいろ訪問される予定と聞いているが、滞在の間、各府県知事等の会談や、東京都の防災センターの視察等を十分楽しんでください。

私も昨年10月、歴史と文化、伝統の街北京を訪問し、視察等を楽しんできた。中国は歴史があり広大な国だと感じた。

呉団長あいさつ

御歓迎していただき光栄であり感謝申し上げます。

私は、1990年に第三次中国省長代表団として鈴木前東京都知事にお会いした。

知事は昨年10月、私たちは今年5月と、双方ともお互いに一番良い季節に相手の国を訪問したことになる。

1979年3月、北京と東京都との友好提携が結ばれるなど、今では約186組の友好提携を結んでいる。

東京都は都市計画が大変よくできているので、北京や我々団員の省都等の都市計画モデルとして、その経験を参考にして活かしていきたい。

両国の自治体交流を深めていくことは、アジア・太平洋、さらに世界の平和に貢献することだと確信している。

是非わが国のこの6省を訪問していただきたい。大いに歓迎する。

(2) 土屋義彦 埼玉県知事 (5月15日)

表敬訪問における土屋知事あいさつ

中国省長代表団の皆様のご来日を心から歓迎する。

わが国は、過去貴国の皆様に対し大変御迷惑をかけた。貴国は、それら乗り越え、今では世界の平和に大いに貢献されている。

1974年、わが国の知事と貴国の省長との間の交流が始まり、今では互いに友好関係の発展に努めている。

私は、呉団長を存知あげている。1990年に第三次中国省長代表団の団員として来日された際、参議院議長として先生にお会いした。その後、埼玉県知事に就任して、今年で5年目、昨年11月には全国知事会会長に就任し、今日またこのように呉団長はじめ皆様にお会いできて感激している。

今後とも、お互いの友情を育てるとともに、世界の平和に協力して貢献するよう努めたい。

呉団長あいさつ

この度の土屋全国知事会会長の御招待により来日し、全国知事会会長、埼玉県知事、元参議院議長と3つの肩書をお持ちの古い友人、土屋知事にお会いできて大変光栄であり感謝している。

今日、また7年振りの握手ができた。

我々一行は、今日で滞在3日目だが、その間成田空港での出迎え、紀内事務総長の夕食会など全国知事会の皆様にご世話になっている。

また、先程は彩の国さいたま芸術劇場を拝見させていただいたが、土屋知事の重要な政策の一つと理解した。そのとき、諸井館長は「土屋知事は芸術に大変理解のある方で、私はやりがいがある。」と言われた。

さらに、土屋知事は永年中日友好の発展のため、御尽力をいただき、先程は過去の中国に対する行為に対して遺憾の意を表していただいた。

両国の自治体間の交流は、両国人民の友好をつくりあげ、アジア、ひいては世界の平和に貢献することになると確信している。

両国の知事(省長)交流がこの23年間に相互に5回ずつ訪問し合い、第三次中国省長代表団のご来日に際して、また今回もこのように御世話になっているが、2回も御世話になる者はまず少ないのではないかと思ひ、

本当にうれしく思っている。

今回の我々中国省長代表団は6つの省からなっている。是非、この6省においでいただきたい。大いに歓迎する。

私の貴州省は、日本との友好提携先を持っていないので是非、土屋知事に御協力をお願いしたい。わが省には、多くの少数民族がおり、民族芸術も盛んで、海外公演も多い。また、薬草の種類も大変豊富なのでよろしくをお願いしたい。

埼玉県知事主催夕食会における土屋知事あいさつ

貴州省省長呉亦俠閣下を団長とする第五次中国省長代表団の皆様、ようこそ埼玉県においでいただいた。680万県民を代表して、心から歓迎を申し上げる。

このたび、中国省長訪日代表団の皆様には、現在私が会長を務める全国知事会の招へいにより来日していただいた。

こうした日中知事交流事業を実施し、日中の知事が一層友好を深めることができることは、中国日本友好協会の御協力によるもので、心から感謝をいたしたい。

特に、中国日本友好協会会長の孫平化先生には、私が参議院議長時代にお会いしてから今日まで、御親交を続けさせていただいているが、先生の日中友好への御尽力に改めて敬意を表したい。

呉亦俠省長閣下とは、7年ぶり2度目の対面となり、まさに「朋有り遠方より来る」の言葉どおり、今回の再会を大変うれしく思う。

本県と中国との関係は、山西省と1982年10月に友好県省の締結を交わしている。以来15年間、両県省は、幅広い分野での交流を着実にしながら、相互理解と友好関係を深めている。

私は、日ごろから世界の平和と繁栄のためには、国と国とのオフィシャルな外交もさることながら、地方自治体や民間レベルのきめの細かい交流が重要であると考え、私自ら先頭に立って地方外交に取り組んでおり、各国要人や各国大使はじめ、様々な国の方と懇談し、友好関係の発展に務めている。

本年は日中国交正常化25周年の記念すべき年でもあり、両国間で多彩な事業が繰り広げられており、日中友好関係に一層弾みがつくものと思っている。

今後とも、日中間の友好交流に対する皆様方の御理解と御協力をお願い

い申し上げる。重ねて皆様のお越しを歓迎申し上げ、御滞在中の御安泰と御健勝を祈念して、私の歓迎のあいさつとさせていただきます。

呉团长あいさつ

中日国交回復 25 周年の記念する年に、全国知事会の御招待で第五次中国省長代表団が訪日し、また本日は、埼玉県にお招きいただき、このような心温まる歓迎に衷心より感謝申し上げます。

土屋知事は、中日友好関係の発展に多大な貢献をなされ、改めて敬意を表したい。

今日、自治体間の交流は順調かつ頻繁に行われるようになった。1973 年、天津と神戸市との友好提携を皮切りに、既に約 186 組になっている。知事（省長）交流では延べ 29 名の中国の省長等が訪日し、また 28 名の日本の知事等が訪中されるなど、自治体交流は両国の友好交流関係の形成に多大な貢献をしている。

今年は、中国にとり大変重要な年で、7 月には香港の主権が回復し、また秋には第 15 回中国共産党全国代表大会が開催される。

当面、中国は、江沢民国家主席の指導の下で故鄧小平指導者の開いた道を発展させ、繁栄を維持するよう努めている。

あと 3 年で 21 世紀を迎えるが、友好交流を通じた両国人民の共通の努力が世界の繁栄と平和の確保に直結するよう努力したい。

今回の中国省長団は全中国の面積の 12%、人口の 21%を占めている。是非、両国の友好交流の進展のためにも、観光、投資でも結構だから、来訪されるようお願いしたい。真心を込めて歓迎する。

(3) 小寺弘之 群馬県知事（高山昇副知事）（5月16日）

表敬訪問における高山副知事あいさつ（知事に代わり）

呉団長はじめとする中国省長代表団の皆様の御来県を200万人県民を代表して歓迎する。

森や山、川等自然に恵まれ、また、古墳、文化財等も多く、東国文化の発祥の地といわれ、さらには物流や情報の拠点としても一層の発展が期待されているわが群馬県は今、21世紀へ向けて「グリーンプラン」と呼んでいる県計画を進めている。

その目標は「元気で温かく住みよい緑の大地」群馬を目指すものである。

グリーンには生命が含まれ、命あふれる生き生きしたまちづくりを進めている。

先月にはお国の陳慕華先生が来県された。

わが国はお国から漢字、文化等を学んでおり、これからもお国と親しく交流していくこととしたい。

呉団長あいさつ

高山副知事先生、中国省長代表団一行は全国知事会のお招きで来日、群馬県を訪問することができ感謝している。また、ただいまは温かい御言葉に感謝申し上げる。

我々は、群馬県の訪問ははじめてであるが、国同士の交流としてはもう25年となる。

今年は、中日国交回復25周年で、両国の文化交流や自治体交流が両国関係に大きく積極的な役割を果たしている。

今回の代表団のメンバーは北は黒龍江省から南は海南省、その間に河北省、江西省、湖南省、そしてわが貴州省の6つの省からなっている。これらの省は古くから日本との間で友好交流を持っている。

あと3年で21世紀を迎えるが、両国は互いに協力して未来を切り開く関係にある。両国の努力により、アジア、世界の平和と発展を築きたい。是非、中国のこの6つの省においでください、歓迎する。

群馬県知事主催夕食会における高山副知事あいさつ

小寺知事に代わりごあいさつ申し上げます。

中国省長代表団の皆様ようこそ群馬県へ、群馬県民を代表して厚く歓迎する。

本年は日中国交回復 25 周年、その年に来日、来県され光栄に存じる。

これを機会にさらに日中関係が深まっていくことを期待する。

本日、ご覧になった富士重工業は本県を代表する企業であり、呉団長の貴州省にある貴州航空工業総会社と平成 4 年（1992 年）から技術提携がなされ、信頼関係が深まっていると伺っている。

また、予定では明日、「ぐんまフラワーパーク」（開園 5 周年）をご覧になっていただくこととなっており、今、花々が最も美しい季節なので十分堪能していただきたい。これは私が農政部長時代に計画し、つくり上げたものである。

「グリーンプラン」は先程の話のとおり、住みよい、温かい県土をつくっていくとともに、豊かな群馬県、元気のある姿をご覧いただければ幸いである。

終わりに、呉団長の御健勝、御活躍をお祈り申し上げますとともに、日中両国の友好と親善の発展を祈念する。

ごゆっくり御歓談ください。

呉団長あいさつ

まず、小寺知事の御母堂様の御逝去に対し謹んでお悔やみ申し上げます。

群馬県を訪問し、また富士重工業も視察でき大変うれしく思っている。

日中国交回復 25 周年である今年、両国の関係者の努力により自治体レベルを含めた交流が親密になってきている。

今回の代表団を含め、省長等 29 名が日本を訪問、日本の知事等 28 名が中国を訪問するなど、両国の関係は一層近付いてきている。

21 世紀まであと 3 年、これからも地方自治体の友好関係を通し、両国人民の関係がますます発展することを期待する。

1997 年は中国にとって重大な 1 年であり、香港の主権回復、第 15 回中国共産党全国代表大会が開催される。

現在、中国経済は安定的、継続的成長を遂げている。

江沢民国家主席の指導の下、故鄧小平指導者の指針に沿って中国国土の発展に邁進している。

群馬県の御案内をしていただいたので、今度は中国の6省の御案内をしたい。6省の面積は中国全体の12%に当たる113万km²、人口は約2億5,000万人で全体の21%を占めている。

中国省長代表団の中で私の省以外は日本の都道府県と友好関係があるが、私の貴州省には友好提携が一つもないので、この機会に群馬県を訪問させていただいた。ここで、わが貴州省の説明をしたい。

1992年には群馬県を代表とする企業である富士重工業との関係ができ、群馬県と貴州省が結びつくようになった。

両団体（省県）は6つの共通点がある。

- ① 両方とも海に遠い。
- ② 農作物にこんにゃくがある。
- ③ 双方とも温泉、観光スポットが多く、大きな滝がある。
- ④ 群馬県にある会社が飛行機を造っていたことや、わが省にある貴州航空工業総公司も飛行機を造っていた。
- ⑤ 群馬県には古い歴史と文化があり、わが省にも古いそういうものがある。また、20年前に発見された2億年前の恐竜の化石・貴州竜石で有名だ。その恐竜の食べた木が今もある。
- ⑥ 高山副知事が言われたグリーンプランと同様、わが省にも今年からグリーンプランがある。市レベルの交流もあると聞いている。

このように双方に大変似通った点が多くあると思うので、双方の訪問を通し、ますます友好交流を深めていきたい。これらのことを小寺知事に是非、よろしくお伝えください。

この場を借りて、小寺知事、高山副知事、そして皆様方、貴州省においでくださることを期待している。

群馬県の一層の発展をお祈り申し上げる。

小寺知事あいさつ

時間に遅れて大変申し訳ない。

呉団長はじめ中国省長代表団の皆様、ようこそ群馬県へ。

本日は母の葬儀があり、大変失礼かと思ったが、小さな失礼よりもっと大きな日中友好という目的のためと思い出席した。

日本と中国は深く永い歴史を持ち、しかもこれは永遠に続く、保つものでなくてはならないと考える。

我々日本の文字の多く、文化も中国から学んできた。

これらの交流を更に深めていき、互いに理解を深めることが大事なこ

とであるととともに、歴史を正しく認識し、両国が仲よく発展することを願っている。呉団長はじめ皆様方の御健勝と御活躍を願ってやまない。

(4) 山田勇 大阪府知事 (5月19日)

表敬訪問における山田知事あいさつ

呉亦侠団長、中国省長代表団の皆様ようこそ大阪へ、府民を代表して歓迎する。

今回御訪問をいただいた大阪府は、経済の中心であり、かつて「天下の台所」と呼ばれ、現在も文化、経済の中心である。

大阪府は、上海市と友好提携を結んでおり、上海市に中国事務所を設置しており、一昨年訪中した際温かいおもてなしを受けた。

皆様方におかれては、短い滞在だと思うが、思い出深い旅になることを念じている。

謝辞 (ありがとうございました)

呉団長あいさつ

尊敬する山田知事、並びに諸先生方

我々中国省長代表団は、大阪入りした日に早速、山田知事にお会いでき中国省長代表団、中日友好協会を代表して厚くお礼申し上げます。

これまで、中日の地方間の友好協力を促進させ、政治、文化、地方自治体間の発展に協力がなされてきた。

さらに、山田知事は、上海市等を訪問され、中日の地方間の友好協力が多大な御貢献をされた。地方自治体間の発展について山田知事を称賛するに値する。

今回、中国省長代表団の黒龍江省から海南省まで 5,500km ある。これから、大阪府は、上海市のみならず、他の今回訪日している 6 つの省と友好協力を増進させ、中日の友好関係の一層の発展に、さらに知事の下で大阪府を御隆盛させていただきたい。

大阪府知事主催夕食会における山田知事あいさつ

体調はいかがか。日程の半分以上が終わり、お国に帰られるときは関西空港を利用されると聞いている。また、一昨年は大阪で APEC を開催した。そして、2008 年にはオリンピックを開催しようと一生懸命努力している。

今回は短い滞在だが、大阪を訪ねていただき本当にうれしい。
それでは、最後に大阪府とお国との友好、実り多き旅行であることを
祈念する。
謝辞（ありがとうございました）

呉団長あいさつ

尊敬する山田知事先生、皆様
我々中国省長代表団は知事から、情熱があり、ユーモアあるお話を聞き心温まる思いである。我々一同は少しも疲れていない。
私たちは、1時間前にはじめてお会いしたが、永年、政治、経済、科学技術の交流があり、古い友人という感じがする。
人類は、あと3年で21世紀を迎え、今回の訪日を通して中日関係の一層の発展ができるものと信じている。
特に、山田知事から大阪を一望できるこのような夕食会を開催していただき、感謝申し上げます。
両国が協力し、アジア・太平洋の平和に努力したい。
最後に、中国省長代表団、中日友好協会を代表し、お礼を申し上げますとともに、山田知事はじめ皆様方に6つの省に来ていただきたい。

(5) 柿本善也 奈良県知事 (5月21日)

表敬訪問における柿本知事あいさつ

来県を心から歓迎する。各地を回ってお疲れのことと思うが、ここ奈良で体を休めていただきたい。

日本と中国との数千年に及ぶ交流の歴史の中でも、とりわけ奈良県は縁が深い。古くから都が置かれたため、中国との交流に根ざす文化財が数多く残されている。

短い期間だが、日本にもいろいろな地域があることを理解し、奈良に親しんでいただきたい。

呉団長あいさつ

本日は、朝早くに奈良県の方が大阪の宿舎まで我々を迎えに来てくださった上、ただいまは知事から心温まる御挨拶をいただき、親しみを感じている。中国省長代表団と中日友好協会を代表して厚くお礼申し上げます。

知事は、500余名の青年団を連れて中国においでいただいたことがあると聞いている。両国友好への熱心さの現れと思っている。我々は、日本及び奈良県との友好を深めるため、わが国人民を代表して来日した。次に訪中される際には、是非この6つの省を訪れてほしい。

奈良県知事主催夕食会における柿本知事あいさつ

呉団長はじめ一行の皆様、奈良県へようこそ、県民を代表して歓迎申し上げます。

日本各地を訪問、視察され、奈良県にもお越しいただいたことは光栄だ。本県は、世界に誇る貴重な歴史文化遺産を数多く有し、日本の歴史と文化の源流の地として知られている。かつて、貴国から幾度かの苦難を乗り越えて渡来された鑑真和上の創建による唐招提寺はじめ、古の貴国との交流をしのばせる足跡が今なお随所に残されている。

本日、このような長い友好の歴史を持つ貴国と親しく懇談する機会が得られたことは大きな喜びだ。日本での最後の滞在地となる本県での視察が、心に残るものとなれば幸いだ。

数千年に及ぶ両国の歴史に、このような新しい交流が大きな実りをもたらし、両国の友好の礎となることを確信し、歓迎の言葉とする。

呉团长あいさつ

柿本知事はじめ奈良県の友人の皆様、本日はこのような温かい行き届いたお持て成しをいただき心から感謝申し上げます。

今回の10日間の最後の訪問が、日本の最も古い都があったところで、わが国との交流の古い足跡を残している奈良県ということは、まことに我々に強い印象を残すものと思っている。

特に、中日国交回復25周年を記念する今年、このように全国知事会のお招きで訪日、奈良県を訪問させていただき、中日両国の地方自治体交流の礎を確固たるものとするができることは本当にうれしいことだ。

柿本知事はじめ御在席の諸先生方におかれては、是非今回の6つの省を訪問していただきたいと念願するとともに、柿本知事、諸先生方の御活躍をお祈り申し上げます。

5 資 料

(1) 第五次中国省長訪日代表団略歴

- 団 長 呉 亦 侠 (WU YIXIA) 貴州省省長
1943年4月23日吉林省吉林市生れ、1967年吉林農業大学土壤農業化学学部卒業。長春市副市長、吉林省副省長、中国農業部副部長、貴州省省長代理等を歴任後、1997年1月より現職。(54歳)
- 団 員 周 鉄 農 (ZHOU TIENONG) 黒龍江省副省長
1938年11月11日黒龍江省生れ、北京大学卒業後、ハルピン工業大学の教師に就任、東北重機学院副教授を経てチチハル市副市長、黒龍江省省長代理を歴任後、1991年10月より現職。(58歳)
- 団 員 劉 作 田 (LIU ZUOTIAN) 河北省副省長
1941年2月1日河北省生れ、1966年河北農業大学卒業。河北省幹部学校副校長、河北省建設学院副院長、河北省经济管理幹部学院副院長、同学院院長等を歴任後、1993年5月より現職。(56歳)
- 団 員 朱 英 培 (ZHU YINGPEI) 江西省副省長
1944年3月5日江蘇省生れ、1968年山東鉱業学院卒業。江西鉱務局に勤務後、江西省経済委員会副主任、江西省政府弁公庁主任、江西省政府秘書長等を歴任後、1995年より現職。(53歳)
- 団 員 賀 同 新 (HE TONGXIN) 湖南省副省長
1953年9月15日山東省生れ、1977年広東外国語対外貿易大学卒業後、湖南大学でMBA称号取得。湖南省輸出入会社社長、湖南省対外経済貿易委員会副主任、衡陽市市長等を歴任後、1996年11月より現職。(43歳)
- 団 員 呉 昌 元 (WU CHANGYUAN) 海南省副省長
1946年10月2日浙江省生れ、1965年北京鉄道学院卒業。鄭州、フフホト、ウルムチ鉄路局勤務を経て、中国鉄道部弁公庁主任就任後、1996年より現職。(50歳)

(2) 第五次中国省長訪日代表団関係省の概要

省名	面積・人口	概要（地勢、気候、産業、交通等）
貴州省	面積 17.6万 km ² 人口 3,460万人	<p>貴州省は中国の南西部に位置し、大部分がカルスト地形で、海拔平均1,000m。気候は温暖、湿潤で年平均気温は15℃。冬は寒くなく、夏も暑くなく、年平均降雨量は1,200mm。省都は貴陽市。</p> <p>貴州省は鉱物資源が豊富で、埋蔵量は全国一。特に石炭、磷、アルミニウム等は全国三番目の埋蔵量を誇る。また、生物資源が豊富で全国四大漢方薬草の産地の一つである。現在、貴州省では、農業を基礎にエネルギー、原材料、機械電子と軽工業、紡績工業を中心とする国民経済体系を構築、94年度の省の国民総生産高は498億元に達した。貴州は酒の里と称され、茅台酒（マオタイ）は、世界中にその名を馳せている。</p> <p>貴州省は、貴陽市を中心に鉄道、道路、水運と航空からなる交通網が形成されており、新国際空港が建設中である。</p> <p>貴州省は、また、風光明媚な自然風景の外、独特の少数民族の風情と優れた天候に恵まれた理想的な観光地でもあり、多くの観光客を引き付けている。</p>
黒龍江省	面積 45.4万 km ² 人口 3,700万人	<p>黒龍江省は中国の東北部に位置し、省の東部と北部を流れるウスリー川と黒龍江がロシアとの国境である。省都はハルピン市。</p> <p>黒龍江省は、資源が豊富で森林面積が広く、木材の生産量は全国一、石油、石炭、金等の鉱物資源の埋蔵量は世界でも有数。石油の年間の生産量5,600万tは全国一。</p> <p>黒龍江省は重要な穀物産地でもあり、農作物として大豆、トウモロコシ、小麦、水稲があり、96年の穀物生産高は300億kgを突破した。</p> <p>黒龍江省は重要な重工業基地で、主な産業として石油、石炭、木材、機械電子と食品加工業がある。</p> <p>黒龍江省の対外経済貿易の発展は早く、特に、対東欧、ロシアとの貿易が盛んである。現在、日本の北海道、山形、新潟との友好省県関係を樹立しており、世界130カ国と貿易を行っている。</p> <p>黒龍江省は観光資源にも恵まれ、年に一度の雪祭と氷祭が有名。</p>
河北省	面積 18.77万 km ² 人口 6,485万人	<p>河北省は中国北部に位置し、また、北京と天津の周辺に位置するところから、国家重点開発である京津冀（河北省の略称）経済圏に属する。交通通信が整備され、秦皇島港は上海港に次ぐ中国第二番目の良港である。省都は石家荘市。</p> <p>河北省は鉱山資源が豊富で、石炭、鉄鉱石、天然ガス等の埋蔵量は全国の上位を占めている。改革・開放以来、河北省の経済は持続、高度成長を遂げ、総合経済力は著しく増強した。主な産業として石炭、電力、紡績、冶金、機械工業が挙げられる。また、河北省は重要な穀物産地であり、96年度の生産高は2,770万t。</p> <p>今日、河北省の対外開放のテンポは大いに加速され、合併企業数は5,780カ所を数え日本を含む世界中の69カ国の投資家が河北省に投資している。</p>

省名	面積・人口	概要（地勢、気候、産業、交通等）
江西省	面積 16.69 万 km ² 人口 4,062 万人	<p>江西省は中国の南部、揚子江の中・下流に位置し、丘陵や山地が主な地形。気候は、亜熱帯性温暖気候で、年平均気温は 18℃、年平均降雨量は 1,300mm。省都は南昌市。</p> <p>江西省は鉱物資源が豊富で、アジア最大の銅鉱山がある。</p> <p>江西省の耕地面積は広く、穀物、綿、茶、煙草等を生産、特に米の輸出量は全国第一位。</p> <p>江西省の森林面積は、省全土の 50.2%を占め、南方の主な木材産地である。南昌市を中心に、鉄道、道路、水運と航空からなる交通網が形成されている。</p> <p>江西省は、観光資源にも恵まれ、廬山をはじめ、国家レベルの景勝地が 3つある。また、1996 年、陶磁器の都として世界的に有名な景德鎮市は佐賀県の有田町と友好提携を結んだ。</p>
湖南省	面積 21.18 万 km ² 人口 6,300 万人	<p>湖南省は中国の南部、揚子江の中流に位置し、洞庭湖の南に位置することに因んで湖南と名付けられた。省都は長沙市。</p> <p>湖南省は漁業、米作が盛んな裕福な省である。また、非鉄金属の里と称されるほど鉱物資源が豊富である。</p> <p>改革・開放以来、湖南省の経済の発展は早く、特に、農業は中国において重要な地位を占めている。商業活動も活発で、95 年上海の浦東と広東の開発に呼応して、科学技術と教育の向上を最優先課題とし、工業の振興と農業強化の戦略を打ち立て、2000 年に国民総生産を現在の 2 倍増にする目標を提示した。</p> <p>湖南省は観光資源にも恵まれ、省都の長沙市は 3000 年の歴史を持ち、馬王堆という古墳から発掘された前漢時代の出土品は世界的に有名である。また、江南 3 大樓閣の一つである岳陽楼は世界文化遺産に登録された。</p>
海南省	面積 3.4 万 km ² 人口 711 万人	<p>海南省は 1988 年、中国 31 番目の省として設置。全国最大の経済特別区であり、華僑の故郷としても有名、気候は熱帯性季節風地帯に属し、年平均気温は 22℃～26℃で年平均降雨量は 1,500～2,000mm。省都は海口市。</p> <p>海南省は耕地面積が広く農業の発展に最適な地域である。30 万 ha のジャングルがあり、貴重な木材と熱帯地域特有の熱帯作物、例えばゴム、椰子、コーヒー等は全国一の生産量を誇る。また、ライチ、マンゴー、バナナ、パイナップル等の果物も多く栽培されている。海南省は鉄鉱石、チタニウム、コバルト等の鉱物資源にも恵まれ、鉄鉱石の年生産高は 400 万 t。</p> <p>また、石油、天然ガスの開発にも大きな潜在能力が認められている。</p> <p>海南省は海域の面積も広く、漁場の面積は 30 万 km²に及び、あわび、マナガツオ、スルメイカ等が有名である。また、海老、海藻、貝の養殖も盛んに行われている。海南省には、5,000ha に及ぶ塩田があり、塩の生産高は年 20 万 t。</p> <p>海南省は米国のハワイと同緯度に位置し、美しいビーチに恵まれ、将来はハワイに匹敵する観光地に成長すると期待されている。</p>

(3) 中国省レベル行政区画地図

写真あり

[参考] 来日省の友好提携状況 (1996. 4. 1)

- 黒龍江省－北海道 (1986年)
 - －山形県 (1993年)
 - －新潟県 (1983年)
- 河北省－長野県 (1983年)
 - －鳥取県 (1986年)
- 江西省－岐阜県 (1988年)
 - －岡山県 (1992年)
- 湖南省－滋賀県 (1983年)
- 海南省－兵庫県 (1990年)

(4) 中国日本友好協会

China-Japan Friendship Association

1 所在地 中華人民共和国 北京市台基廠大街 1 号

TEL 6512-2476

FAX 6512-1436

2 設立 1963 年（昭和 38 年）10 月 4 日

3 目的 中国と日本との友好親善の促進

4 主要役職員（1997 年 6 月現在）

会 長 孫平化（1986 年 5 月より）

副 会 長 宋之光、林林、肖向前、文遲、黄世明、
王效賢、陳永昌

秘 書 長 吳瑞鈞

副 秘 書 長 李鉄民

政 治 交 流 部 長 王雲涛

都 市 交 流 部 長 王秀雲

友 好 交 流 部 長 許金平

5 沿革

中国日本友好協会（略称・中日友好協会）は、1963 年（昭和 38 年）10 月 4 日、北京で結成された。

結成にあたっては、中国人民対外友好協会をはじめ、中華全国青年連合会、中華全国婦女連合会や中国文学芸術界連合会など各分野の 19 団体が参加、名誉会長に郭沫若氏、会長に廖承志氏、以下各界代表が役員に就任した。

以来、同協会は、日中間・各分野の民間交流の総合的な窓口として活動し、日中国交正常化に大きな貢献をした。

国交正常化後も、引き続き両国間の友好都市提携の促進、日中経済交流の斡旋をはじめ、日中新時代にふさわしく広範な分野で日本の各界との諸交流を推進している。

(5) 都道府県と中国省・自治区・中央直轄市との友好提携状況

(1996. 4. 1)

都道府県名	中国省・区・市名	提携年月日
1 東京都	北京市	1979. 3. 14
2 愛知県	江蘇省	1980. 7. 28
3 大阪府	上海市	1980. 11. 21
4 静岡県	浙江省	1982. 4. 20
5 熊本県	広西壮族自治区	1982. 5. 20
6 秋田県	甘肅省	1982. 8. 5
7 山口県	山東省	1982. 8. 12
8 長崎県	福建省	1982. 10. 16
9 埼玉県	山西省	1982. 10. 27
10 兵庫県	広東省	1983. 3. 23
11 滋賀県	湖南省	1983. 3. 25
12 神奈川県	遼寧省	1983. 5. 12
13 京都府	陝西省	1983. 7. 16
14 新潟県	黒龍江省	1983. 8. 5
15 長野県	河北省	1983. 11. 11
16 和歌山県	山東省	1984. 4. 18
17 富山県	遼寧省	1984. 5. 9
18 広島県	四川省	1984. 9. 17
19 山梨県	四川省	1985. 6. 18
20 鳥取県	河北省	1986. 6. 9
21 北海道	黒龍江省	1986. 6. 13
22 三重県	河南省	1986. 11. 19
23 宮城県	吉林省	1987. 6. 1
24 岐阜県	江西省	1988. 6. 21
25 兵庫県	海南省	1990. 9. 28
26 岡山県	江西省	1992. 6. 1
27 福岡県	江蘇省	1992. 11. 4
28 山形県	黒龍江省	1993. 8. 10
29 福井県	浙江省	1993. 10. 6
30 島根県	寧夏回族自治区	1993. 10. 6
31 栃木県	浙江省	1993. 10. 13
32 香川県	陝西省	1994. 4. 22
33 高知県	安徽省	1994. 11. 8

出典：(財)自治体国際化協会編集『日本の姉妹自治体一覧 1996』

(6) 日 中 知 事 交 流 の 経 過

平 和 9 年 6 月

全 国 知 事 会 国 際 部

区 分	滞 在 期 間	団 名	団 長	構 成 員	訪 問 先 (省 ・ 県 名)
1 第 1 回 中 訪 訪	昭 49. 8. 20 (1974) ~ 8. 31 (12 日 間)	全 国 知 事 会 代 表 知 事	{ 前 半 } 桑 原 愛 知 県 知 事 { 全 国 知 事 会 会 長 } { 後 半 } 奥 田 奈 良 県 知 事 (同 副 会 長)	知 事 4 名 (愛 知 ・ 奈 良 ・ 高 知 ・ 広 島) 副 知 事 3 名 (宮 城 ・ 神 奈 川 ・ 熊 本) 随 員 5 名 計 12 名	北 京 市 ・ 遼 寧 省 (瀋 陽) ・ 上 海 浙 江 省 (杭 州) ・ 広 東 省 (広 州)
2 第 1 回 日 来 訪	昭 53. 10. 21 (1978) ~ 11. 6 (17 日 間)	中 国 省 市 現 任 者 訪 日 代 表 団	万 里 安 徽 省 革 命 委 員 会 主 任	省 主 任 1 名 (安 徽 省) 省 副 主 任 6 名 (黒 龍 江 省 ・ 河 北 省 ・ 湖 南 省 ・ 北 京 市 ・ 甘 肅 省 ・ 四 川 省) 随 員 4 名 計 11 名	東 京 ・ 茨 城 ・ 福 岡 ・ 広 島 ・ 奈 良 京 都 ・ 愛 知 ・ 神 奈 川
3 第 2 回 中 訪 訪	昭 55. 10. 27 (1980) ~ 11. 8 (13 日 間)	全 国 知 事 会 訪 中 代 表 団	武 市 徳 島 県 知 事	知 事 1 名 (徳 島) 副 知 事 4 名 (岡 山 ・ 大 阪 ・ 京 都 ・ 兵 庫) 随 員 2 名 計 7 名	北 京 市 ・ 四 川 省 (成 都) ・ 上 海 浙 江 省 (杭 州) ・ 江 蘇 省 (蘇 州)
4 第 2 回 日 来 訪	昭 59. 4. 7 (1984) ~ 4. 20 (14 日 間)	第 二 次 中 国 省 長 訪 日 代 表 団	布 赫 内 蒙 古 自 治 区 主 席	省 長 3 名 (内 蒙 古 自 治 区 ・ 河 南 省 ・ 江 西 省) 副 省 長 2 名 (遼 寧 省 ・ 新 疆 ウ イ グ ル 自 治 区) 随 員 4 名 計 9 名	東 京 ・ 神 奈 川 ・ 京 都 ・ 兵 庫 ・ 熊 長 崎
5 第 3 回 中 訪 訪	昭 61. 5. 19 (1986) ~ 5. 29 (11 日 間)	第 三 次 全 国 知 事 会 訪 中 代 表 団	{ 前 半 } 鈴 木 東 京 都 知 事 (全 国 知 事 会 会 長) { 後 半 } 長 野 岡 山 県 知 事	知 事 3 名 (東 京 ・ 岡 山 ・ 栃 木) 副 知 事 2 名 (香 川 ・ 鹿 児 島) 随 員 4 名 計 9 名	北 京 市 ・ 陝 西 省 (西 安) 浙 江 省 (杭 州) ・ 江 蘇 省 (蘇 州) 上 海 市
6 第 3 回 日 来 訪	平 2. 10. 11 (1990) ~ 10. 21 (11 日 間)	第 三 次 中 国 省 長 訪 日 代 表 団	白 立 寧 夏 回 族 自 治 区 主 席	省 長 1 名 (寧 夏 回 族 自 治 区) 副 省 長 4 名 (雲 南 省 ・ 青 海 省 ・ 貴 州 省 ・ 吉 林 省) 随 員 3 名 計 8 名	東 京 ・ 栃 木 ・ 香 川 ・ 岡 山 ・ 奈 良 ・ 大 阪
7 第 4 回 中 訪 訪	平 3. 8. 3 (1991) ~ 8. 13 (11 日 間)	第 四 次 全 国 知 事 会 訪 中 代 表 団	西 尾 鳥 取 県 知 事	知 事 1 名 (鳥 取) 副 知 事 5 名 (東 京 ・ 愛 知 ・ 兵 庫 ・ 岡 山 ・ 山 口) 随 員 3 名 計 9 名	北 京 市 ・ 甘 肅 省 (蘭 州 ・ 敦 煌) 陝 西 省 (西 安) ・ 上 海 市
8 第 4 回 日 来 訪	平 5. 11. 8 (1993) ~ 11. 18 (11 日 間)	第 四 次 中 国 省 長 訪 日 代 表 団	賈 志 傑 湖 北 省 省 長	省 長 2 名 (湖 北 省 ・ 広 西 チ ウ ン 族 自 治 区) 副 省 長 4 名 (福 建 省 ・ 山 西 省 ・ 山 東 省 ・ 安 徽 省) 随 員 4 名 計 10 名	福 岡 ・ 山 口 ・ 鳥 取 ・ 福 島 ・ 上 海 市

区 分		滞 在 期 間	団 名	団 長	構 成 員	訪 問 先 (省 ・ 県 名)
9	第 5 回 訪 中	平 7. 5. 29 (1995) ～ 6. 8 (11 日 間)	第五次全国知事会訪中代表	圓 藤 徳 島 県 知 事	知 事 1 名 (徳 島) 副 知 事 4 名 (福 島 ・ 埼 玉 ・ 富 山 ・ 京 都) 随 員 4 名 計 9 名	北 京 市 ・ 四 川 省 (重 慶) ・ 荊 沙 市 湖 北 省 (武 漢) ・ 広 東 省 (広 州 ・ 深 圳) 香 港
10	第 5 回 来 日	平 9. 5. 13 (1997) ～ 5. 22 (10 日 間)	第五次中国省長訪日代表	吳 亦 俠 貴 州 省 省 長	省 長 1 名 (貴 州 省) 副 省 長 5 名 (黒 龍 江 省 ・ 河 北 省 ・ 江 西 省 ・ 湖 南 省 ・ 海 南 省) 随 員 3 名 計 9 名	東 京 ・ 埼 玉 ・ 群 馬 ・ 大 阪 ・ 奈